

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名 横須賀三浦地区農政事務所
77 ※記入不要	
要望問題 広葉樹材の利活用の手法開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 背景:横須賀三浦地区においては、スギ・ヒノキなどの人工林は1割しかなく、9割は広葉樹林となっている。これらの森林木材資源利用は、過去において薪炭として利用されてきた。広葉樹木材資源の大部分は薪として利用されていたという古老からの聞き取り情報である。 昭和30年代のエネルギー革命により、薪の利用はなくなり、広葉樹林の伐採はされず過熟化が進んでいる。そのため、林床植生の衰退を引き起こすとともに、崖地地形にあつては強風や降雨による倒木被害を引き起こしている。 こういったことから、広葉樹材活用の方策を開発し、生活に生かすことが広葉樹林の更新に役立つとともに災害の防止にもなると考えられる。	
内容 1、最近、他の県や市などにおいて多様なエネルギー資源活用や堆肥生産などとしての活用事例の記事が見受けられるが、本県での具体的可能性や新たな利活用手法について研究をお願いしたい。(②2～3年以内) 2、具体的に木質ペレットによる冷暖房を行うとした場合の、排出ガスの比較や森林の整備の進捗、重油との経済的比較、木質ペレット生産に要するコストや雇用増など、総合的な検討を事例(具体的に合庁などを事例として)研究としてお願いしたい。(①1年以内)	
対象地域及び規模(面積、数量) 1は全県を対象 2は一例として自然環境保全センターの庁舎(他でも可)での事例で試算されたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所(<input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場) <input checked="" type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所(<input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場) <input checked="" type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター
部 署:	研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 森林バイオマスの熱利用システム実用化に関する実証試験事業調査
対応の内容等 NEDO(新エネルギー・産業技術総合研究開発機構)との共同研究で「森林バイオマスの熱利用の研究」を行っています。研究の内容は本センターの再編整備に関わって必要とするバイオマス量の算出等です。したがって要望課題とかなりの部分で一致しています。 農総研で堆肥化について研究を行っています。	
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	